

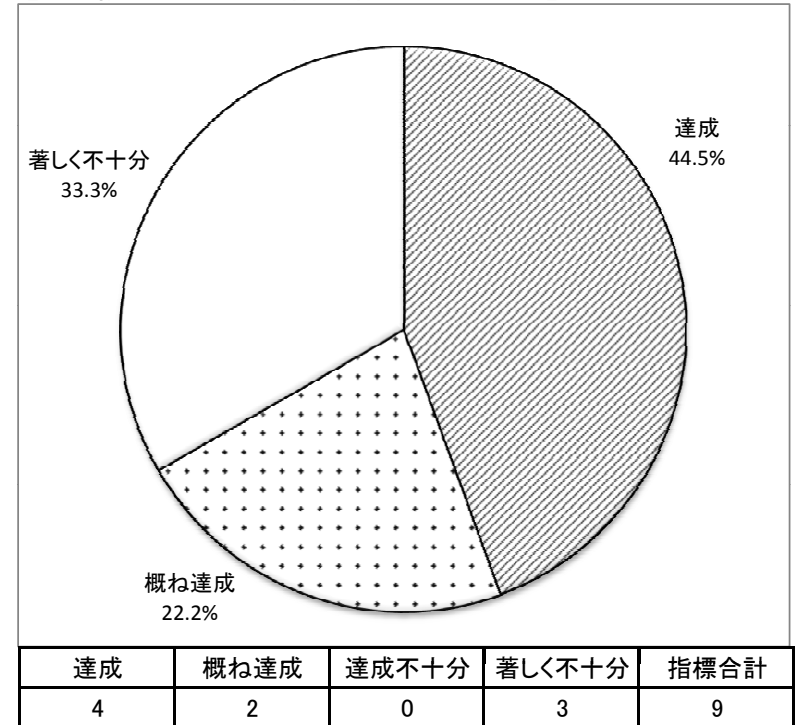
政策評価調書(23年度実績)

政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	政策コード	Ⅲ-2	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、教育庁
-----	------------------	-------	-----	-------	-----------------

【Ⅰ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	今後の方向性
1	県民文化の創造	概ね達成	拡充
2	文化財・伝統文化の保存と活用	達成	拡充
3	県民スポーツの振興	概ね達成	拡充

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅲ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率	指標名	達成率	指標名	達成率
県民芸術文化祭(主要行事・参加行事)参加者数	73.5%	県民すこやかスポーツ祭の参加者数	78.5%	プロスポーツチームの県内開催試合の平均観客動員数	67.4%
<著しく不十分となった理由>		<著しく不十分となった理由>		<著しく不十分となった理由>	
<p>行事への参加をHP等により広報したが、過去に参加した団体等への周知が十分にできていなかったため、目標を達成できなかった。今後は、各団体等に対しても個別に文化祭参加を依頼する。</p>		<p>広報チラシの作成等により大会の周知を実施したが、平成23年度は5月29日台風(2号)の影響により全93会場中、17会場で開催が中止となったため、目標値を達成できなかった。今後は予備日を設定するなど参加者の確保を図りたい。</p>		<p>この指標はトリニータの観客動員数によるところが大きく、東日本大震災の影響で試合が平日に開催されたこと等により観客数が伸びなかった。引き続き、各チームは観客増に取り組むことが重要であり、県としても県内各地のイベントや学校等に選手を派遣し、チームや選手を身近に感じてもらい、応援する機運を高めていきたい。</p>	

【Ⅳ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

文化面では別府アルゲリッチ音楽祭、スポーツ面では第63回国民体育大会や4つのプロスポーツクラブの活躍などにより、県民の文化・スポーツに対する関心は着実に高まりを見せている。また、平成25年には北部九州4県合同のインターハイの開催、27年春には県立美術館の開館が予定されており、県民の文化・スポーツに対する関心はさらに高揚していくことが予想される。一方で、過疎化・高齢化の進行等により、地域の伝統文化の保存と活用、継承や文化芸術活動の実施が困難になりつつある。こうしたことから、今後は、文化・スポーツを取り巻く社会情勢を的確に把握し、それらの課題や社会ニーズに応じた文化芸術振興施策やスポーツ振興施策を積極的に展開していくことが必要である。